

地域連携通信

vol. 1

2024
12月発行

Jichi Medical University
Saitama Medical Center

センター長のご挨拶



センター長 遠藤 俊輔

当センターは平成元年自治医科大学附属大宮医療センターとして稼働病床85床で開設し、以後平成の30年間に認可病床数628床にまで拡大しました。大宮医療センターからさいたま医療センターへと名称を変更し、南館、外来棟、ICUや手術室を増改築し、開院当初から中心となってきた循環器診療に、がん診療、救急、周産期、小児医療も加わり、令和を迎えたセンターは名実ともに様変わりしました。

さいたま市の人口はセンター開設時の30年前から40万人増加し、令和6年現在日本の人口の100分の1にあたる130万人に達しており、今後はさいたま市医師会の先生方と、より密接な連携が必要と考えます。

また、超高齢化社会を迎えた今、疾患背景は多岐にわたり、単一の診療科だけでは容易に対応できなくなっています。当センターは内科外科系専門診療科に分かれているとはいえ、その根底にある総合診療体制という特徴を生かし、総合・救急医療体制を強化するとともに、それに続く専門診療についても、様々な分野のエキスパートによる安全で確実な治療を提供しております。

当センターはこれからも高度医療を提供し、地域住民の方々に安心して診療を受けていただける医療機関であり続けるとともに、へき地で活躍する医師の支えとなる基地となるよう職員一同一生懸命に努める所存ですので引き続きご支援ください。センターを受診される患者様、ご紹介くださる医療関係者の皆様、今後ともセンター発展のため忌憚ないご意見を頂戴できれば幸いです。



contents

センター長のご挨拶	1	診療科紹介 救急科	2
診療科紹介 小児科	3	年末年始の診療体制について	4

救急科

救急科 科長 守谷 俊

救急科は卒後臨床研修必修化に伴い2003年9月に救急告示指定病院となり2004年1月より救急科専門医指定施設となり現在は救急科指導医施設として地域の救急医療を支えています。2016年4月には埼玉県8番目の救命救急センターとして認可されました。救急車で搬送された患者は救急科医師がファーストタッチで初期診療を行い全ての診療科及び部門と協力して迅速かつ的確な救急医療を実践しています。

地域で最も信頼され、24時間継続した救急医療の実践を目標に掲げております。平日日勤帯に気道・呼吸・循環・意識に大きな異常がある場合は、救急車経由で救急科への紹介を

お願いいたします。休日時間帯のご相談は全て救急科が担当いたします。2023年度の救急車受け入れ件数ですが9,917件となり県内にある11の救命救急センターの中で第1位でした。



エクモドクターカー (ECMO Doctor Car)
えもちゃんが配備されています。

救急科で働くスタッフを紹介します。

柏浦 正広 先生



職名：
救急科 講師
救命救急センター
副センター長
専門分野：
救急一般・集中治療
中毒学

自己紹介をお願いします。

2006年に京都府立医科大学を卒業後、自治医科大学附属さいたま医療センターで初期研修・救急科後期研修を終えた後に都内の救命救急センターで勤務しました。2017年に当センターに戻って参りました。一貫して救急診療に従事しています。さいたま市の救急医療を少しでも改善できるように尽力していきます。

Q 仕事上で常日頃から心がけていることは？

救急医療は、患者さんの命に関わる緊急性の高い医療です。一刻を争う場面も多いですが、地域の先生方との密な連携があってこそ、最善の医療を提供できると考えています。24時間365日、どんな症例でもご相談いただける救急科でありたいと思っています。

Q 今後の挑戦や展望はありますか？

救急医療の質の向上には、地域全体での取り組みが不可欠です。当センターは毎年多くの初期研修医を受け入れ、若手医師の教育に力を入れています。救急初期対応から専門的治療まで、段階的な教育プログラムを通じて、地域の救急医療に貢献できる医師を育成していきたいと考えています。

小児科



チーム医療でご紹介いただきました患者様の診療を行っています。

小児科 科長 田村 大輔

自治医科大学附属さいたま医療センターに小児科が開設されて16年目を迎えました。2010年、新生児集中治療部も開設し、現在、小児科医局スタッフ数は、23名になりました。南館3・4階に小児科病棟34床と新生児集中病棟27床（NICU 9床/GCU 18床）を整備し、外来では、総合診療部をはじめ循環器、内分泌、アレルギー、神経、感染症、新生児と各専門医による診療を揃え、ご紹介いただいた子どもたちの健康を守っています。



現在、当科は、更なる飛躍を目指し大きな改革を進めております。保護者や子どもたちのさまざまな訴えに即応するため専門性の高い外来診療の整備を行っております。また、大学附属の医療センターとしての利点を生かし、外科系診療科と連携し包括的な小児医療の提供を実践してまいります。

自治医科大学附属さいたま医療センター小児科は、先生方からの負託にお応えし、子どもたちの健康を守る安全で信頼性の高い医療をしっかりと提供してまいります。

○通常勤務体制：～12月27日まで

新年は1月6日～

・外来への御紹介および入院の御依頼は通常通りです。

○年末年始体制：12月28日～1月5日

・入院の御相談はいつでもお受けします。

代表番号にお電話の上、「入院の相談」として当日、担当しております小児科医師におつなぎください。

年末年始の診療体制について

年末年始の外来診療は下記の期間、休診とさせていただきます。

12月28日（土）～1月5日（日）

当日の緊急受診、緊急入院が必要と思われる患者さんをご紹介いただく場合は、医療機関から下記に電話連絡をお願いいたします。

●12月27日（金）まで

①平日 8:30～17:15

TEL.048-648-5167（地域医療連携室直通）※医療機関専用ダイヤルです。

②夜間 17:15～8:30 土日・祝日24時間

TEL.048-647-2111（代表）

●12月28日（土）～1月5日（日）

TEL.048-647-2111（代表）

下記の期間は、救急患者の受入れ体制を強化しております。

ぜひご相談ください。

12月28日（土）～12月30日（月）

なお、12月31日（火）18:00～1月1日（水）8:00まで、電子カルテシステム更新作業に伴い、救急患者受入れの制限を実施させていただきます。

大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

診療科のご案内

内科系診療部

- ・総合診療科
- ・消化器内科
- ・内分泌代謝科
- ・リウマチ膠原病科
- ・脳神経内科
- ・放射線科
- ・病理診断科
- ・救急科
- ・循環器内科
- ・呼吸器内科
- ・血液科
- ・腎臓内科
- ・小児科

外科系診療部

- ・一般・消化器外科
- ・心臓血管外科
- ・整形外科
- ・耳鼻咽喉・頭頸部外科
- ・眼科
- ・皮膚科
- ・リハビリテーション科
- ・麻酔科
- ・緩和ケア科
- ・呼吸器外科
- ・脳神経外科
- ・泌尿器科
- ・産婦人科
- ・形成外科
- ・歯科口腔外科

- ・心臓血管センター
- ・周産期母子医療センター
周産期科
- ・救命救急センター
- ・中央診療部
- ・診療サポートチーム



自治医科大学附属さいたま医療センター

〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847 TEL.048-647-2111(代) FAX.048-648-5166 <https://www.jichi.ac.jp/center>